

脚本 野島伸司 主演 飯豊まりえ
ドラマ『何曜日に生まれたの』
ギャラクシー賞
10月度月間賞を受賞！

ABCテレビが制作したドラマ『何曜日に生まれたの』(2023年7月クール放送)が、
ギャラクシー賞10月度月間賞に選ばれました。

ギャラクシー賞は、日本の放送文化の質的な向上を願い、優秀番組・個人・団体を顕彰するため
に1963年に創設された賞です。

ギャラクシー賞2023年10月度月間賞

【番組】『何曜日に生まれたの』(ABC テレビ制作、2023年7月クール放送)

【選評】

作劇と現実が複層的に交錯しながら天才作家とヒロインが共振しあっていく。
最終話で二人がフィクションを乗り越えて迎えるリアルの着地にキュンとさせられた。
脚本家として虚実を往来し続ける野島伸司自身の苦悩が天才作家のキャラに
落としこまれたような一作。野島ワールドの深化を感じた。



【内容】

カーテンが閉め切られた部屋で、ボサボサ髪、スウェットとTシャツ姿の女性が、無表情にゲームをしている。彼女は黒目すい(飯豊まりえ)・27歳。売れない漫画家の父・丈治(陣内孝則)と二人で暮らす、10年間ほぼ引きこもりの家事手伝い。ある日、丈治に連載の打ち切りが告げられる。編集担当の来栖久美(シンド・カフカ)から、作画はいいが、話が絶望的につまらない、センスが古いと酷評されたが、丈治は生活のために「なんでもやります」とすがりつく。すると来栖は丈治に、大ベストセラー作家の公文竜炎(溝端淳平)が原作を書き、丈治が作画を担当する、異色のコラボ作品を提案する。公文からの条件はただひとつ、すいを主人公のモデルにすることだった。

公文の狙いとは一体何なのか！？

そんな時、すいの元に高校時代の同窓会の案内が届く。実は…引きこもりになった原因は高校時代に引き起こしたバイク事故にあった。トラウマだらけの思い出に苦悩するすいに、公文は同窓会へ出席するよう説得するのだが…

【出演】

飯豊まりえ 溝端淳平 / 井上祐貴 YU 若月佑美 片山友希 濱正悟 /
白石聖 早見あかり / シンド・カフカ 陣内孝則

【スタッフ】

脚本 野島伸司

音楽 福廣秀一朗

主題歌 The Hollies「Bus Stop」

企画・プロデュース 清水一幸

プロデューサー 南雄大 松原浩 柴田裕基 難波利昭

制作プロデューサー 奈良井正巳

演出 大塚恭司 岩本仁志 松原浩

制作著作 ABCテレビ

『何曜日に生まれたの』に関する最新情報

◆120分を超える貴重な特典映像を収録したBlu-ray Box が2024年2月9日(金)に発売決定！

<https://www.asahi.co.jp/nanuma/goods/>

現在絶賛予約受付中！詳しくは番組ホームページまで

◆全話を TELASA・U-NEXT で配信中

<https://www.asahi.co.jp/nanuma/#watch>

【放送枠について】

ABC テレビでは、2023年4月から日曜よる10時に全国ネットの連続ドラマを新設。

第一弾は…

岡田恵和脚本・清野菜名主演の『日曜の夜ぐらいは…』を放送。

※ギャラクシー賞2023年7月度月間賞・日本民間放送連盟賞「番組部門 テレビドラマ番組」優秀賞を受賞。

現在、同枠では浅野妙子脚本・堀田真由主演の『たとえあなたを忘れても』(2023年10月クール)を放送中。来年1月クールでは遊川和彦脚本・福士蒼汰主演の『アイのない恋人たち』を放送予定。

日曜よる10時枠ドラマ 公式HP

- 『日曜の夜ぐらいは…』 https://www.asahi.co.jp/drama_22_abctv/
- 『何曜日に生まれたの』 <https://www.asahi.co.jp/nanuma/>
- 『たとえあなたを忘れても』 <https://www.asahi.co.jp/anawasu/>
- 『アイのない恋人たち』 https://www.asahi.co.jp/ainonai_koibito/

